

活動報告

団体名	一般社団法人バルビー
活動名	災害復興支援「復興ロジスティクス」 地域コミュニティ構築事業
活動期間	2017年1月～2017年9月
活動の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅団地により異なるニーズに可能な限り対応できた。 ・仮設暮らしの住民が心地よく生活できる環境作りや、仮設であっても住民同士仲良く暮らせるためのコミュニティ作りをサポートすることができた。 ・様々なモノ作りワークショップや交流イベントを通して住民同士および自治会と住民のコミュニケーションを促進できた。 ・社協や地域支え合いセンター、各地域で活動している支援団体等との連携体制が強化された。御船町では、支援団体のネットワーク会議ができ、社会福祉協議会や支え合いセンターも参加し、定期的に情報や課題共有をする場が構築された。 ・仮設住民や自治会長らとの信頼関係が築けたことで問題等が共有されることもあり、継続したコミュニティ構築支援および専門機関や他団体へ繋ぐことができた。 ・被災した子どもや住民の気持ちを受け止めつつ、次へ進むためのきっかけづくりをすることができた。
寄付者へのメッセージ	<p>熊本地震の被災者支援のために暖かいご支援を頂き、ありがとうございます。熊本で被災し緊急支援への関わりをきっかけに長期的な支援の必要性を感じ、継続して活動している私たちにとって、皆様からの熊本へのご支援は多大なる後押しになります。</p> <p>仮設住宅の入居期間1年延長が発表されましたが、未だ約45,000人が仮設暮らしです。住民の多くは今後の生活再建に不安を抱えたまま生活を送っています。社会福祉協議会や地域支え合いセンター、更には住民の方々からもまだまだ支援団体等の活動継続が必要だという声をいただいています。支援を必要としながら、建物被害は少なかったために、支援の届かない被災者も多くいらっしゃいます。</p> <p>バルビーは、仮住まいの生活でも住民が自分らしく過ごせる環境を創り、被災した方々の本当の意味での復興に目処がつくまで、強く大きな地域コミュニティ「みんなで作る回復力のある地域」の構築を目指します。Resilient Inclusive Community</p>

(活動のようす)

